

長久手市行政評価票

事業番号	52	事業の名称	平成こども塾事業		担当部署	部	課					
						くらし文化部	生涯学習課					
基本方針	(1)万博理念を継承し、自然・環境にこだわるまち	分野別項目	(7)農のあるくらし・農のあるまちを支える	施策の進め方	(5)自然環境体験活動の推進	フラッグ	フラッグ項目					
事業の概要	平成こども塾事業推進のため次の事業を行う。 ・地域の環境や福祉についての学習活動 ・学習活動を通じた地域住民との交流 ・学校連携活動 ・その他平成こども塾の設置目的を達成するために必要な事業				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	周辺市町村での学校連携の実施や原体験教育活動ならびに子どもを主体として一年間を通じた食と農に関する取り組みを実践することについては他に例を聞かない。 全国的に見て多種多様な年間200回前後のプログラムを総合的に一つの施設で行っている例は聞かないが、個別に見れば類似事業はある。						
事業期間	事業開始年度	平成18年度	終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	長久手市民を主体とする、小中学生とその保護者。					うち	一般財源	3,484	3,509	4,029	3,494	3,635
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	自然・文化・環境・農業等に関わる活動に参加してもらい健全な心と身体を培う。						国費・県費	3,314	3,339	3,859	3,324	3,635
							地方債	170	170	170	170	0
					その他		0	0	0	0	0	
						受益者負担額	125	128	187	98	179	

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価			
		手段 (いつ、どのような手段を使って)						成果指標の目標値 設定の根拠	H25実績	H25決算	H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明			
		4月~	7月~	10月~	1月~										H26実績	H26目標値	H25予算
① 学校連携事業	主に長久手市内の6小学校の小学生(1人の児童あたり6年間に3回実施予定)	← 4月~7月~10月~1月~ → 小学校の授業時間を使い、年間を通じて58回計画することで				67回実施 1,902名参加	参加者に対する満足度。(プログラム終了後にアンケートを実施)	98	99	85	1,220	1,230	1,310	1,270	1,320	A	現行どおり実施していく。
② 平成こども塾プログラム事業	長久手市民を主体とする、小中学生とその保護者。	← 年間を通じて8回計画することで				12回実施 351名参加	参加者に対する満足度。(プログラム終了後にアンケートを実施)	96	99	85	180	195	120	115	180	A	現行どおり実施していく。
③ 専門プログラム事業 (日曜日特別プログラム委託、土曜日特別プログラム委託、ネイチャーゲームプログラム委託)	長久手市民を主体とする、小中学生とその保護者。	← 年間を通じて18回計画することで				18回実施 575名参加	参加者に対する満足度。(プログラム終了後にアンケートを実施)	94	94	85	941	941	1,260	966	992	A	現行どおり実施していく。
④ サポーター事業 (平成こども塾サポート隊委託)	長久手市民を主体とする、小中学生とその保護者。	← 年間を通じて98回計画することで				98回実施 2,172名参加	参加者に対する満足度。(プログラム終了後にアンケートを実施)	95	97	85	1,143	1,143	1,339	1,143	1,143	A	現行どおり実施していく。

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
			平成こども塾マスタープラン改訂事業	現在ある長久手平成こども塾マスタープランは平成17年度に策定したものであり、来年度には開館10年目を迎えることから考えると、すでに上位計画の変更がなされ、理念等の乖離が生じていることから、改訂作業を行う。